

No.	主な該当箇所	意見内容	意見に対する考え方、基本構想への反映
1	第1章第2節 「商工業都市としての高岡」	新幹線開業により、高岡が変化したことについて記載しては。	(下線部加筆) 【基本構想4頁】第1章第2節「商工業都市としての高岡」 さらに近年では、2015年(平成27年)の北陸新幹線の開業及び2024年(令和6年)の金沢・敦賀間の開通によって、首都圏及び関西圏への交通利便性が格段に向上しました。
2	第1章第3節 「自然都市としての高岡」	河川について、庄川・小矢部川のみ記載であるが、産業に大きな貢献をしてきた千保川についても触れていただきたい。	(下線部加筆) 【基本構想5頁】第1章第3節「自然都市としての高岡」 平野部を囲む庄川や小矢部川や庄川、庄川の旧本流である千保川などのといった河川は農業を支えるのみならず、鋳物や金属加工といった高岡の主要産業の製造工程に欠かせない要素でもありました。
3	第1章第3節 「自然都市としての高岡」	大雨災害や令和6年能登半島地震など、様々な災害を乗り越えて現在の高岡を構築したという旨の記載が必要ではないか。	(下線部加筆) 【基本構想5頁】第1章第3節「自然都市としての高岡」 しかしながら、これらの豊かな自然は、ただ恵みばかりをもたらしてきたわけではありませ ん。このまちは今までも、台風や洪水、地震といった自然の脅威と幾度も対峙し、その都 度、大きな困難を乗り越えてきました。このまちの現在のすがたは、こういった苦難におい ても互いに助け合い、知恵と工夫を凝らしてきた先人たちの尽力があってこそのもなのです。
4	第2章第1節 「人口動態」	少子化対策では、若い世代が子どもを産み育てやすい環境について考えなければいけな い。保育施設等の職員が足りていない現状について、表現できればよい。	(修正なし) 第5次基本計画の個別施策において検討を行う
5	第2章第1節 「人口動態」	人口減少に歯止めをかけるのは難しい。少しでも遅らせる取組みが必要である。現在も子 育て支援はあるが、結婚や出産についての取組みはあまりないように感じる。県では、婚 活アプリを積極的に推進している。若い人の流出を少なくする方策を考えないといけな い。	(修正なし) 第5次基本計画の個別施策において検討を行う
6	第2章第3節 「産業構造」	雨晴への観光客は、長時間滞在する方が多い一方で、お金を消費する機会がなく、経済効 果はそれほど高くない現状がある。今後、JR氷見線がどのように変化していくか、また、 インバウンドの公共交通利用状況もあわせて注視していく必要がある。	(修正なし) 第5次基本計画の個別施策において検討を行う
7	第2章第3節 「産業構造」	人口減少下において、収入減が予測される中で、観光産業にもっと力を入れるべきではな いか。観光客が本市で宿泊しない、長時間滞在をしないということは、如実に現れてい る。観光による収益拡大に繋がるよう、幅広く取組みを行うと良い。	(修正なし) 第5次基本計画の個別施策において検討を行う
8	第2章第5節 「地域共同体・地域団体」	令和6年能登半島地震の記述の中で、被災地の情報共有の場面における地域団体が果た した役割について記載されているが、多くの市民団体・NPOの方も活動に参画されていた 現状を考えると、地域コミュニティだけではなく、市民団体などを含めた記載になると良 い。	(修正なし) 市民団体やNPOを含めて「地域共同体・地域団体」として記述していると整理
9	第3章第1節 「市の将来像」	「市民一人ひとりが有するまちへの愛着と誇りを責任感と主体性へと昇華させる」には、 かなり工夫をもって望まなければいけないと感じる。私たちの気概をどう示していくか が、これからの計画に非常に重要になってくると思う。また、どのようにしてシビックブ ライドを醸成していけばよいか、戦略をもっていかねばならない。	(修正なし) 第5次基本計画の個別施策において検討を行う

No.	主な該当箇所	意見内容	意見に対する考え方、基本構想への反映
10	第3章第1節 「市の将来像」	第3章第1節「市の将来像」及び第2節「将来像とその実現に向けた基本的な方針」が、このあと基本計画に繋がっていく部分になると思われるが、この基本構想がどのように基本計画に繋がっていくのか不明である。基本計画の序文等において記載する必要がある。	(加筆) 「おわりに」において、基本構想と基本計画の繋がりについて記載
11	第3章第2節(1) 「静かな愛着と誇りを、責任感と主体性へ」	「高岡市民が抱くまちへの静かな愛着と誇りを責任感と主体性へと昇華させていく」は非常に良い表現であると感じる。「未来志向の市民性を形成していく」と繋がっていくが、ここでいう責任感と主体性とは、未来を作っていく主体性であると思う。市の将来像「住みたいまち 高岡」をみんなで実現するということをここで示す必要がある。「未来を創る責任感」や「未来を構成する主体性」など未来を連想させる文言を入れても良いのではないかと。	(下線部加筆) 【基本構想10～11頁】第3章第2節(1)「静かな愛着と誇りを、責任感と主体性へ」 このような課題意識のもと、 行政や地域企業等の各種法人や地域団体・有志団体等には、 このような課題意識のもと、 高岡市民が抱くまちへの静かな愛着と誇りを、 <u>高岡の未来の創生に向けた責任感と主体性へと昇華させていく取組が求められます。</u>
12	第3章第2節(1) 「静かな愛着と誇りを、責任感と主体性へ」	未来とは子ども達あつてのことである。自分たちの社会を良くしていこうとする、責任感と主体性のある市民性の育ちは、幼児期から始まっている。教育や保育など子どもの視点があれば良い。	(加筆) 「おわりに」において、「医療・福祉や教育・保育といった高岡市民の毎日の生活と不可分な各分野において、「住みたいまち 高岡」の実現に向けた取組の具体的な方針を示したものです。」を記載
13	その他	市民の安心と安全をどう確保していくかはとても大事な視点である。この基本構想には、医療、福祉の分野についての記載がない。	(加筆) 「おわりに」において、「医療・福祉や教育・保育といった高岡市民の毎日の生活と不可分な各分野において、「住みたいまち 高岡」の実現に向けた取組の具体的な方針を示したものです。」を記載
14	その他	基本構想は、市民にしっかり読んでいただき、理解していただくことが肝要である。素案は文章だけで提示されているが、市民に見てもらう際には、グラフや図、イラスト等、視覚的に理解できるようなものを今後検討して行ければ良い。	(修正なし) グラフや図、イラスト等を活用した冊子を作成する等の検討を行う
15	第3章第2節(5) 「時代とともに変化する価値観の受容と相互尊重へ」		(加筆) 【基本構想12頁】第3章第2節(5)「時代とともに変化する価値観の受容と相互尊重へ」 <u>また、国際情勢や技術発展等によって予測を大きく上回る速さの変化や不連続的な変化が生じ得ることをも見越して、行政のみならずまち全体がこれらに迅速かつ柔軟に対応できるような体制を整えていきます。</u>
16	おわりに		(加筆) 【基本構想13頁】おわりに <u>この基本構想は、高岡市の将来像とその実現に向けた基本的な方針を示したものです。しかしながら、実際にこのまちの未来をつくっていくにあたっては、将来像や方針の提示に終始することなく、現実の行動に移していくことが不可欠です。</u> <u>この観点から、この基本構想で示された将来像と方針を具体化するものとして、「高岡市総合計画基本計画」を策定します。この基本計画は、医療・福祉や教育・保育など高岡市民の毎日の生活と不可分な各分野において、「住みたいまち 高岡」の実現に向けた取組の具体的な方針を示したものです。単純化すれば、基本構想は理念を示し、基本計画は行動のあり方を示しています。</u> <u>本文で触れたように、今後10年間の高岡市においては、従来は行政が担ってきた役割を高岡市民一人ひとりが責任感と主体性を持って引き受けていく必要があります。この際、市民を代表する委員等によって構成される総合計画審議会での議論を経て策定されたこの基本構想と基本計画は、理念と行動の両面において、確かな指針となることでしょう。</u>